DOLBY

BDの商品価値を高める音声フォーマット

Dolby Japan株式会社

May.23.2008

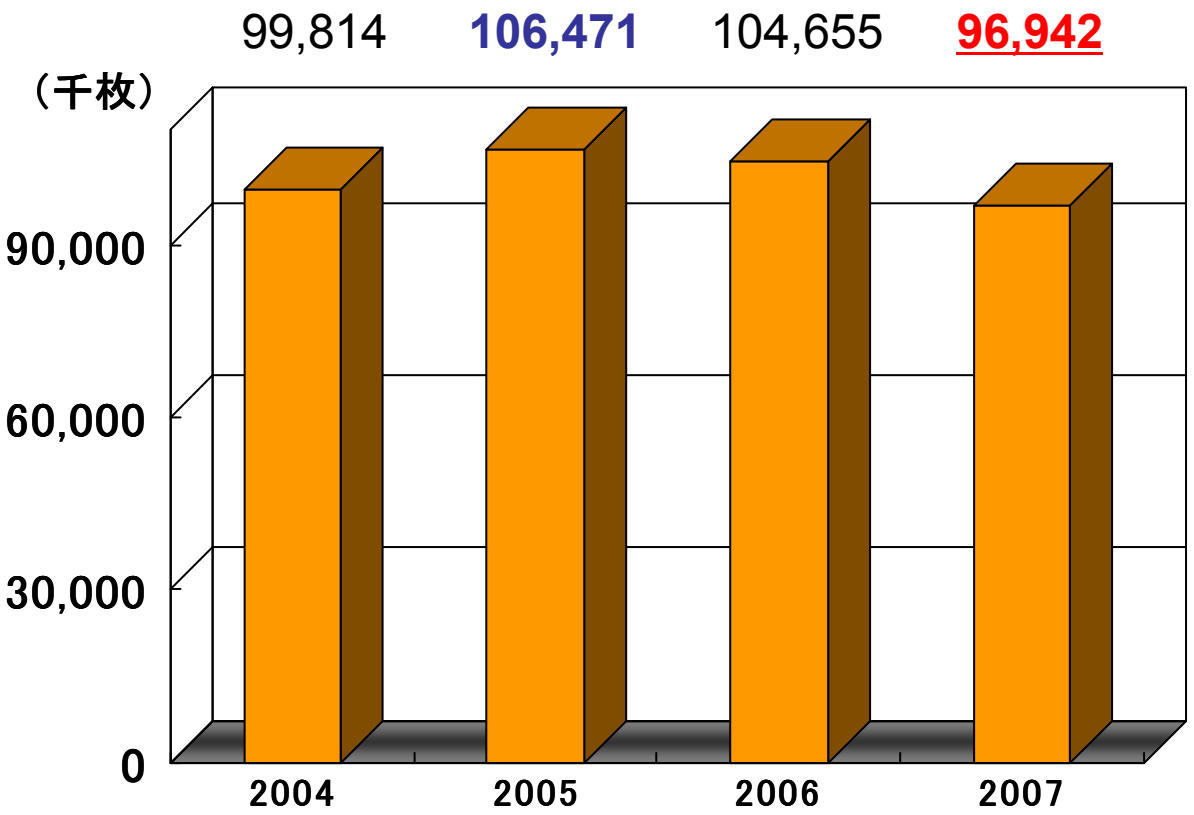
Confidential Information

BDA Confidential

DVD販売減少の背景を探る

（社団法人 日本映像ソフト協会 調査より。枚数はセル＆レンタル用の合算。）

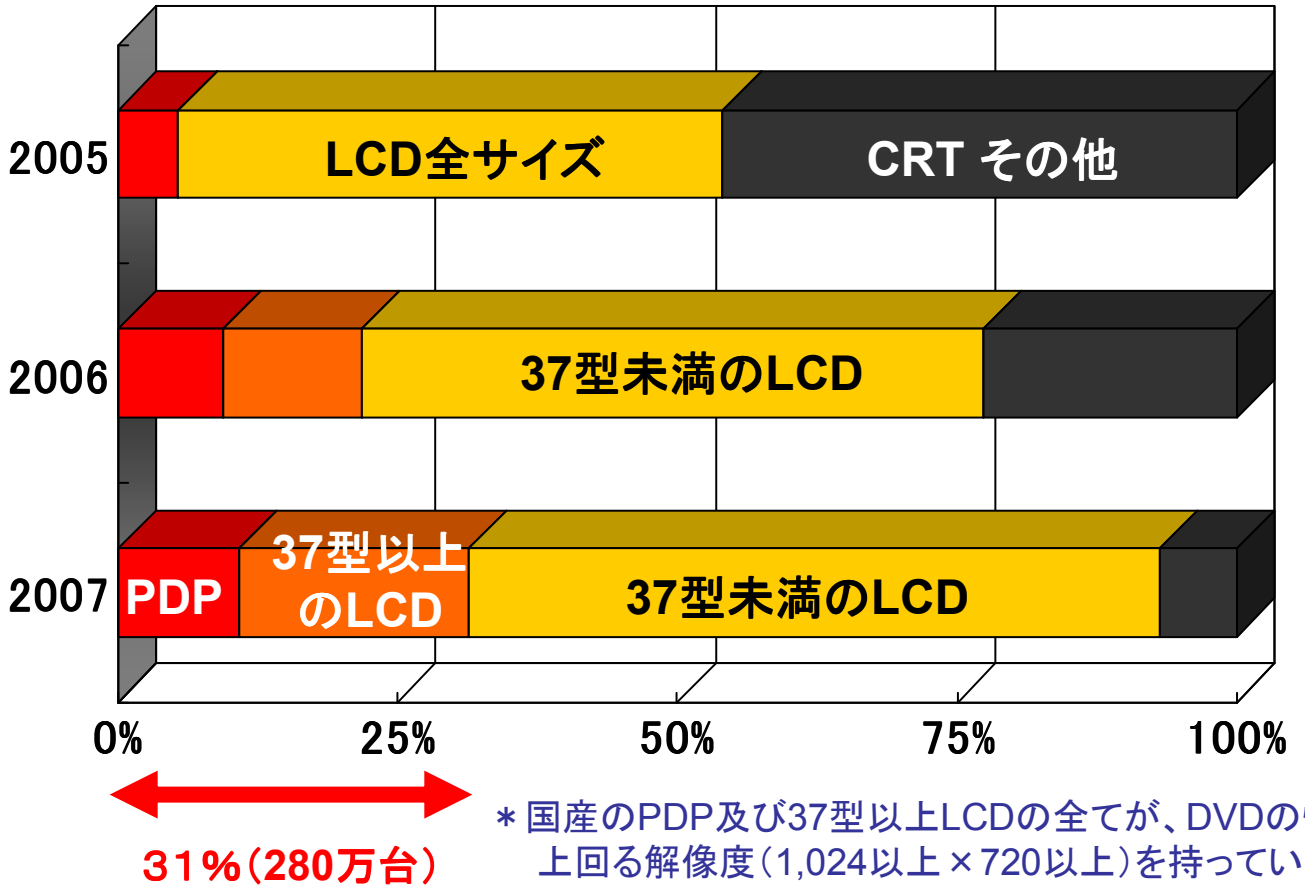
DVDのセル＋レンタル店用ディスク 計の販売本数は、2005年の1億枚超をピークに、減少の一途を辿っている。07年度の販売数は04年度をも下回る。



平面TVの大型化によって進むTVのHD化

（社団法人 電子情報技術産業協会 調査より）

一方、TVは大型化に伴うハイデフィニション化が進み、07年にはテレビ全体における「PDP+37型以上のLCD（液晶）」の販売構成が、31%（280万台超）にも達している。



＊JEITAがLCDの実績に関し、37型以上の内訳数の発表を始めたのは2006年以降。

＊国産のPDP及び37型以上LCDの全てが、DVDの情報量（720×480）を上回る解像度（1,024以上×720以上）を持っている。（ドルビー調べ）

BDA Confidential

TVのHD化が明かす、デジタル放送とDVDの画質差

フルHD TVでデジタル放送を見慣れると…

＊イメージ

情報量1/6のDVD画質に不満感が…。

＊イメージ

デジタル化でDVDと放送のスペックが比較可能に

パッケージ商品が放送サービスとの差別化を保ち、明確に棲み分けする為には、
放送サービスを明らかに凌駕するクオリティ（画質・音質）のスペックが必要だが、
現状はハイビジョン対応の液晶・PDPが爆発的に普及しているのにも関わらず、
パッケージのハイビジョン化が遅れていた。

マーケット現状とそれに対するユーザーの志向

解像度	*1920×1080*		*720×480*
映像スペック（*転送レート*）	NHK BS-Hi *~24Mbps* 程度 他のデジタル放送 *~20Mbps* 程度	＞	DVD *~8Mbps* 程度 *（MAX 10.08Mbps）*（2層・120分収録で試算）

ユーザーの判定

HD放送の映画・音楽

＞

DVD

DVDパッケージ

BDA Confidential

ブルーレイへ転換すべきタイミングは今なのか？

DVDの市場縮小が進む中、ではブルーレイ市場へ参入すべきタイミングは本当に今で良いのか？

- ブルーレイ市場の活性度が過去においてどうであったか、そして現在どのように状況変化してきたのかを検証する。

1）市場活性度に関する過去と現状の理解

2）デジタル放送との差別化問題とその解決策

初期BDソフトの苦戦を検証 1）市場活性度の推移

（JEITA販売統計・BCNランキング・GfK調査・ファミコン通信調査より類推）

● BDレコーダー販売台数推移

*06年の導入から07年9月迄、対応機器の販売数は伸び悩んでいた。
スタートから18ヶ月の間で約3万台販売。

*07年10月から、販売は急伸長。
07年10月以降、6ヶ月の間に約33万台販売。
（うち、3月単月で約9万台の勢い。）

● レコーダー販売台数におけるBD：DVDの構成比率

*BDの比率は07年11月時点で約20%
→08年3月には約38%にも上昇。

● PS3販売台数（国内）

*BDの再生が出来るPS3の販売台数は、08年3月時点で約200万台。

以上の事から、国内のBD再生機普及台数は推定約233万台。（3/末）

ビックカメラにおけるBDのハード＆ソフト連動販売

パッケージ商品の告知パネル

作品の5.1chデモ

BDソフト解説パネル

オーディオコーナーのメーカーブース内にてスタンドやダミーパッケージを陳列

BD-ソフト 説明パネルの掲示、ダミーパッケージの陳列、5.1ch デモ上映

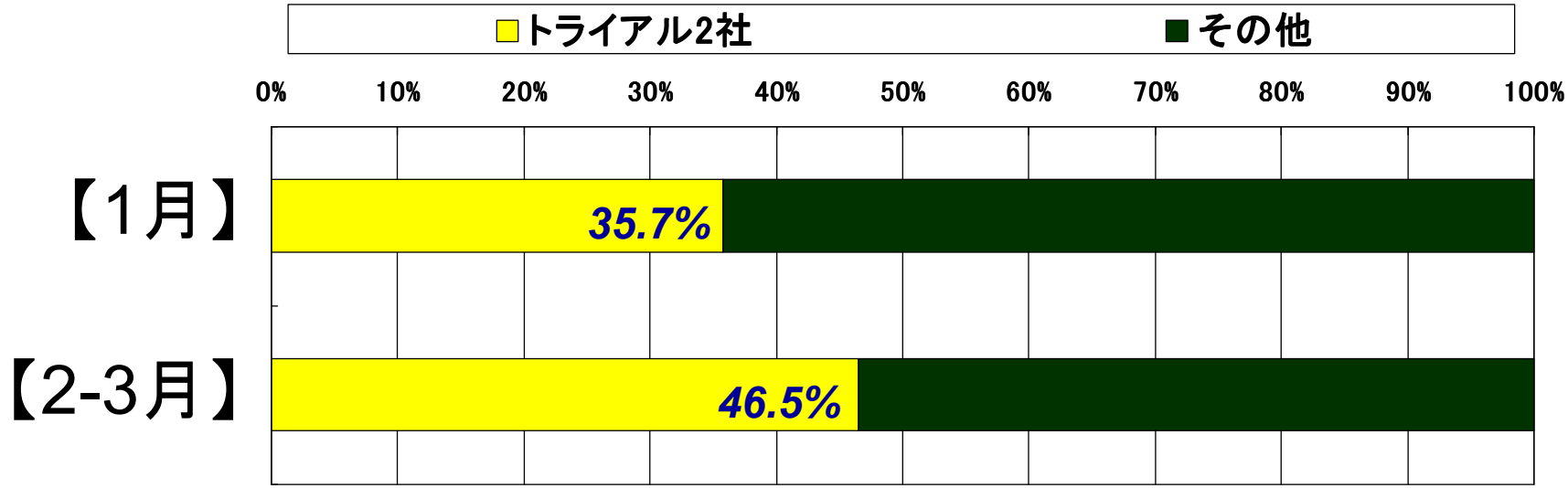
BDA Confidential

ビックカメラ 有楽町店
ホームシアター商品（AVアンプ＆システム）販売動向

有楽町店 2-3月において、新作ソフトをブース内でプロモーションした2社のホームシアター関連機器販売シェアは、プロモを実施していなかった1月に比べ、2社計で約11%、店内販売シェアが高まった。

有楽町店 台数ベース 販売シェア推移

データ提供：（株）ビックカメラ

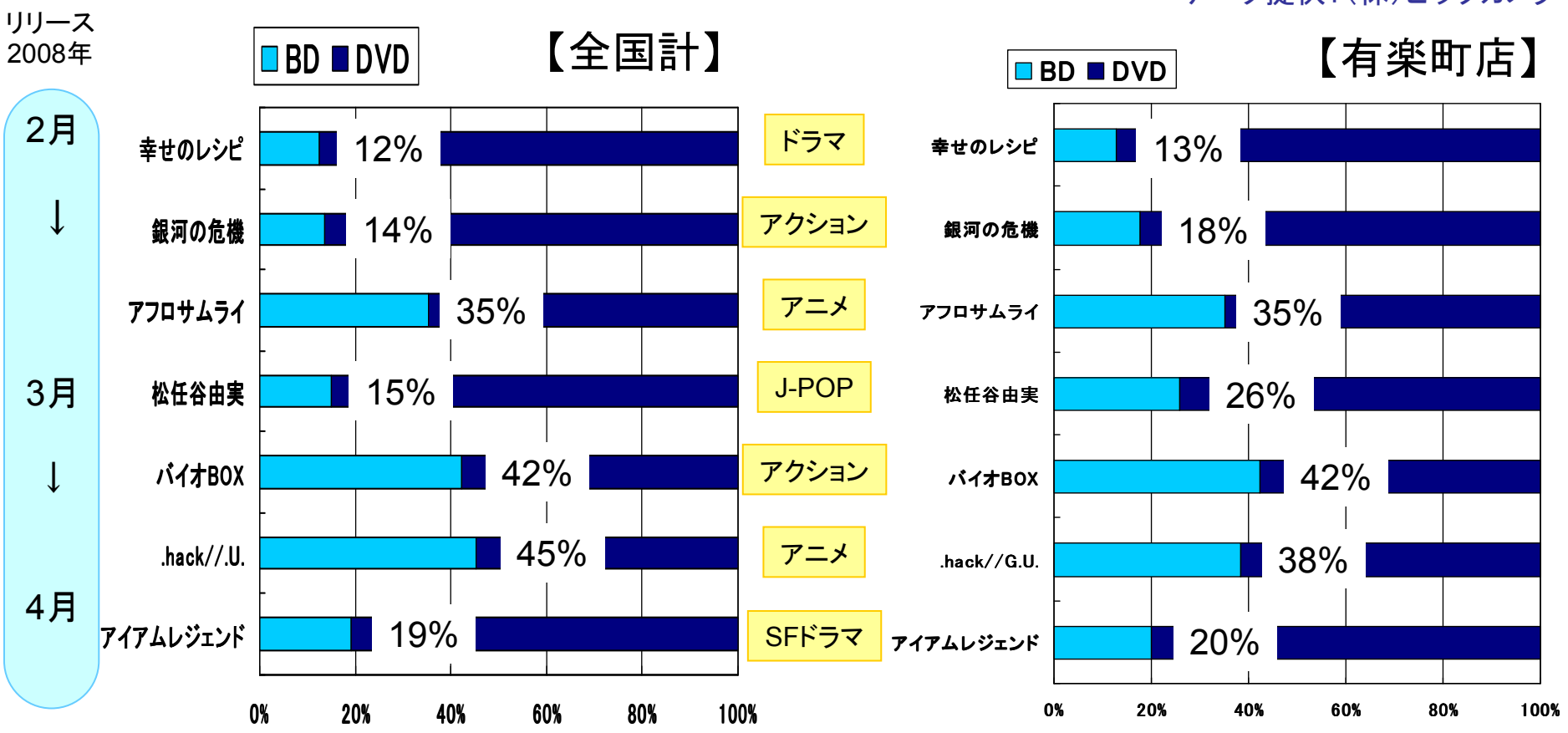


BDA Confidential

ビックカメラ 同時発売タイトル BD:DVD 比率状況

- 同ジャンル間比、月10%近い伸び幅でBD販売構成比が高まっている。
- アニメやアクション等のジャンルで構成比は35-42%程度。
- PS3ユーザー層に遠いと思われるタイトルでも3月以降は20%強に。

データ提供：(株)ビックカメラ



BDA Confidential

ブルーレイ レンタル状況

主なサービス事業社（サービス開始順）

- TSUTAYA 3月19日より スタート**10**店舗
- ゲオ 4月12日より **800**店舗

主な作品提供社（広報発表順）

- ワーナーブラザーズ
  「ハリーポッター」シリーズなど**48**作品 4/12開始
- ウォルトディズニースタジオ
  「ナショナルトレジャー」など**8**作品を発表 6/4以降順次展開
- バンダイビジュアル
  「機動戦士ガンダム」シリーズなど**10**作品 7/25開始
- **20世紀フォックス**
  「ダイ・ハード4.0」など**25**作品 6/6開始

＊各社発表より

初期BDソフトの苦戦を検証 2）放送との差別化問題

パッケージ商品が放送サービスとの差別化を保ち、明確に棲み分けする為には、
放送サービスを明らかに凌駕するクオリティ（画質・音質）のスペックが必要だが、
一部の初期ブルーレイタイトルに関してはそれが徹底されていなかった。

(とりわけ日本のユーザーは転送レート等のスペックにこだわるユーザーが多い為。)

一部の初期ブルーレイディスクとデジタル放送の関係

映像スペック（転送レート）	NHK BS hi ~24Mbps 程度 他のデジタル放送 ~20Mbps 程度	＞＝	一部の初期BD ~20Mbps 程度（単層・PCM 120分収録で試算）

ユーザーの判定		＞	BD
ブルーレイレコーダーと記録用メディア			ビデオパッケージ

放送との差別化を支援するソリューション

●BDのパッケージ制作にあたっては、ライセンス料フリーで、かつ映像と音声のクオリティに関する放送との差別化を支援する、「ドルビーTrueHD」の採用が重要ポイントである。

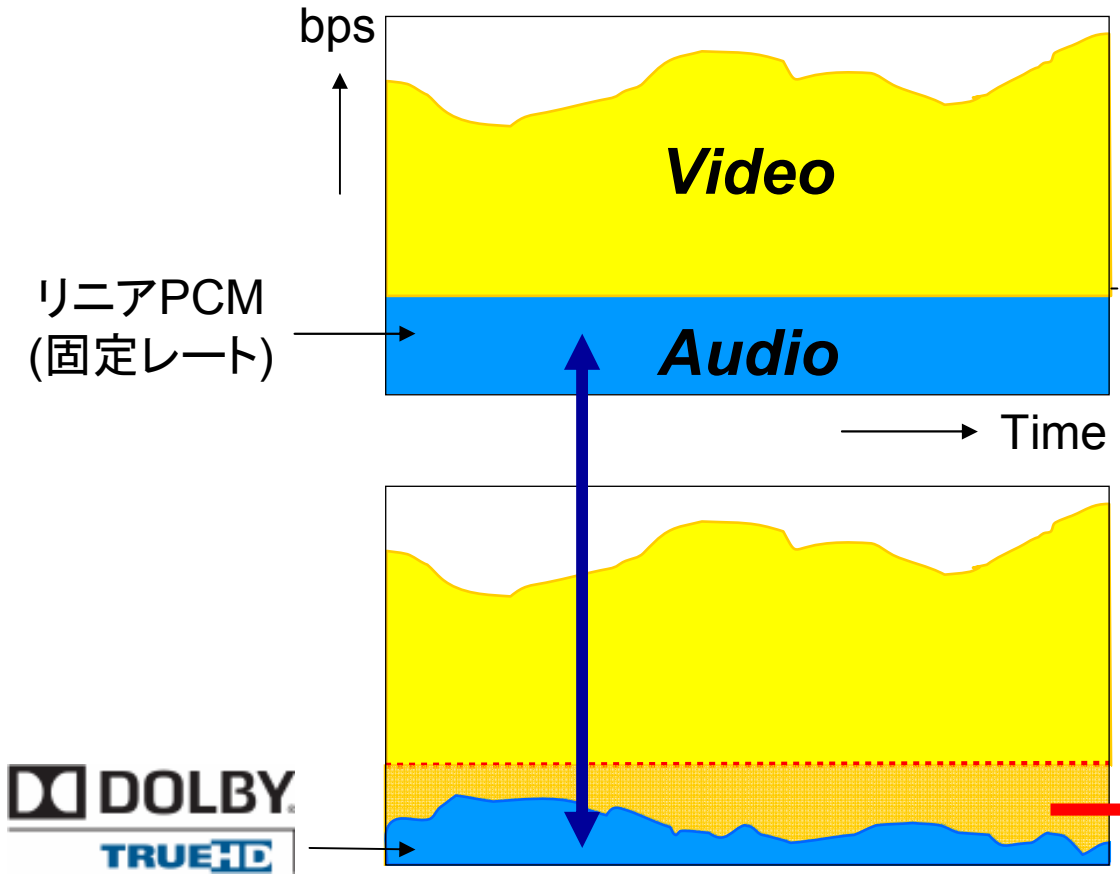
BDA Confidential

ドルビーTrueHD 採用制作元リスト

- アスミック・エース
- エイベックスマーケティング
- バンダイビジュアル
- ジェネオン・エンターテインメント
- ギャガ・コミュニケーションズ
- 角川書店
- 三鷹の森ジブリ美術館
- パラマウントピクチャーズ
- ポニーキャニオン
- ソニー・ピクチャーズ
- ビデオアーツ
- ウォルトディズニースタジオ
- ワーナーブラザーズ

＊社名ABC順

ドルビーTrueHDは、音の技術でありながら、映像品質の向上にも効果をもたらす、「放送との差別化」に最適な技術。



パッケージにリニアPCMを用いた場合

*48kHz/24bit/5.1chで 6.9Mbps
*96kHz/24bit/5.1chで13.9Mbps

パッケージにドルビーTrueHDを用いた場合

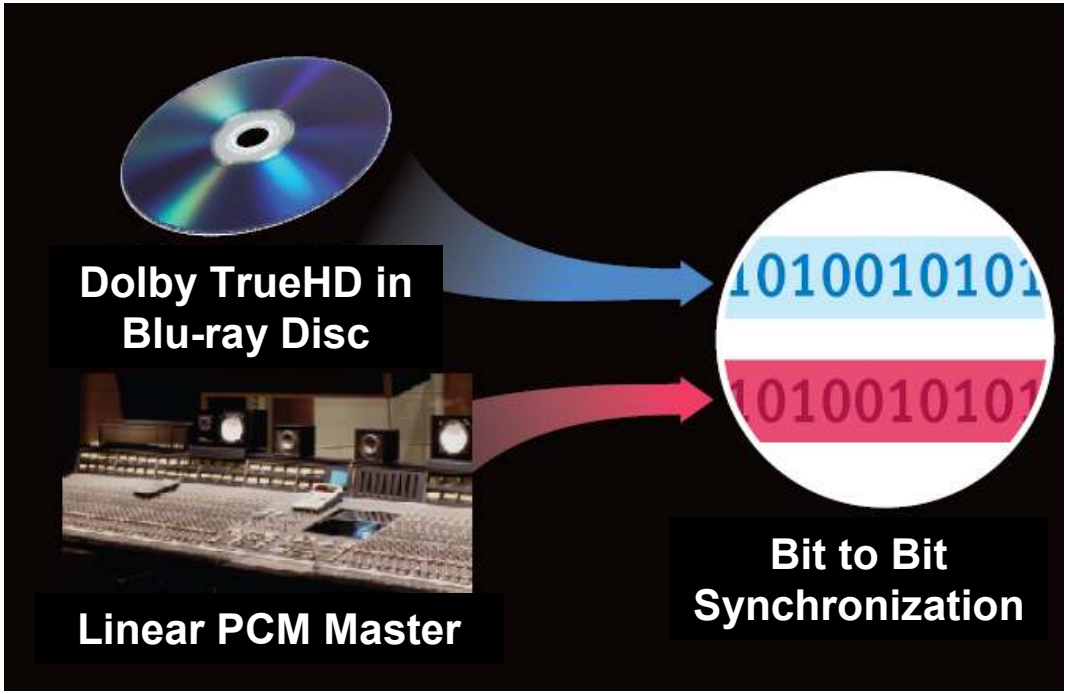
リニアPCMに比較し、
50%から20%程度の
サイズにパッキング

音声ビットレートの節約

音声で空いたビットレートを有効活用し、映像に転用する事で、
更なる高レートでの映像収録が可能になります。

ドルビーTrueHDは、ファイルサイズをマスター比約50-20%にしつつ、マスターとビット単位で全く同じ信号を復元。

技術的位置付けはPCの圧縮ファイル（Zip等）と同じ。
（ファイルが小さくなっても元の情報は一切欠落しない。）



リニアPCMの持つ「スタジオイコールクオリティ」というセールスポイントを活かしつつ、データ容量をダイエットし、映像品質の向上をサポートします。

DOLBY TRUEHD

BDA Confidential

ドルビーTrueHDを活用し、デジタル放送との差異が明確な映像・音声クオリティを実現

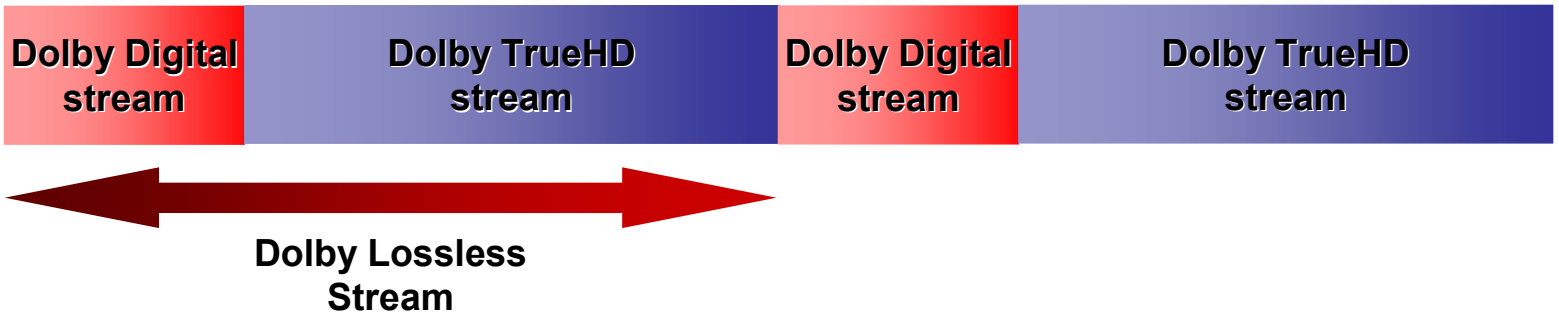
ドルビーTrueHDや、作品長により2層ディスクを併せて採用する事により、
デジタル放送を凌駕するスペック（画質・音質）のパッケージ商品が実現します。

パッケージングに工夫したブルーレイディスクと放送サービスの関係性

映像スペック	NHK BS hi ~24Mbps 程度 他のデジタル放送 ~20Mbps 程度	＜＝	~24Mbps 程度 （単層・ TrueHDの 120分収録で試算） ＊二層ディスクだと ～40Mbpsの 収録も可能に。（作品長に依存）
音声スペック	AAC5.1ch (圧縮音声)	＜	Dolby TrueHD **(マスターイコール)**
ユーザーの判定	 HD放送の映画・音楽	＜	BD DOLBY TRUEHD ブルーレイディスク

BDA Confidential

ドルビーTrueHDなら互換性も安心



ブルーレイディスクでは、ドルビーTrueHDのストリームの前にドルビーデジタルのストリームが付いているので、これだけであらゆるBDユーザーへの対応が可能。（むろん、2ch環境のユーザーにも対応。）

DOLBY TRUEHD

BDA Confidential

オーサリング環境は整っているのか？

TrueHDを用いたマスター制作の主な対応社

- ソニーPCL（株）
- （株）東京放送（TBSテレビ）
- （株）キューテック
- （株）ソニーコンピューターエンタテインメント
- パナソニックオーサリングセンター六本木
- （株）IMAGICA
- 東芝デジタルフロンティア（株）
- マックレイ（株）
- （株）ポニーキャニオンエンタープライズ
- （株）NHKテクニカルサービス

＊コンチネンタルファーイースト（株）調べ

BDA Confidential

ドルビーTrueHDはブルーレイソフトの必需品

ブルーレイディスクは、ドルビーTrueHDを採用し、音声ファイルを効率的なサイズで収録する事によって、空いた帯域やディスク容量を用いてデジタル放送に対し充分な差別化が図れる映像レートを確保したパッケージングを行う事により、その商品力を強固なものとします。

以下は、過去にドルビーTrueHDをご採用いただいた各社様にご提案し、実施したプロモーションをご紹介致します。

DOLBY TRUEHD

BDA Confidential

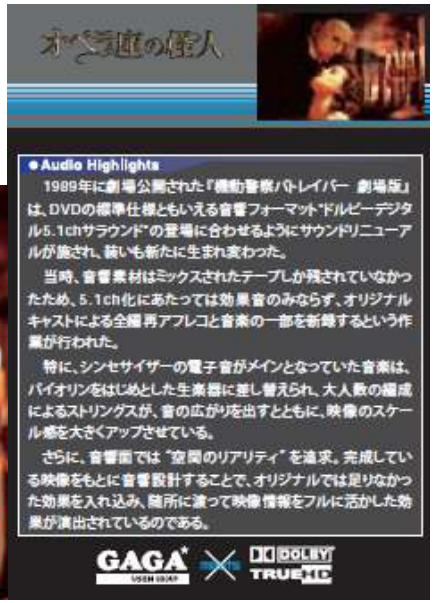
ドルビーTrueHD採用時の提供品①マニュアル

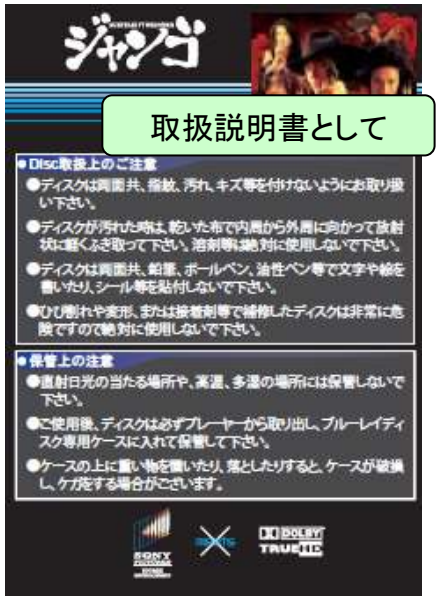
採用パッケージの初回ロットに、利点と接続法を書したマニュアルを提供。

ドルビーTrueHD採用時の提供品②作品カード

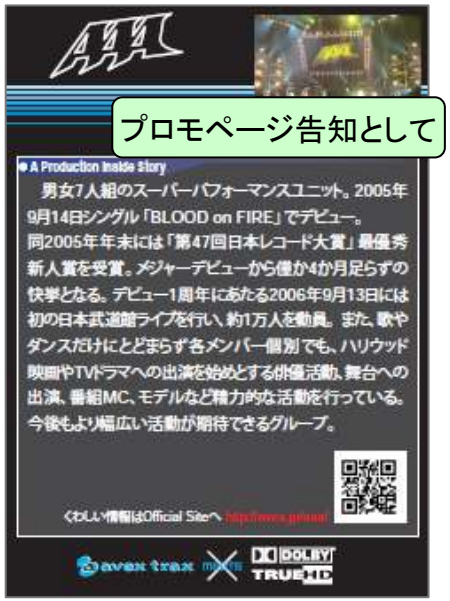
商品訴求チラシとして

ライナーノートとして





取扱説明書として



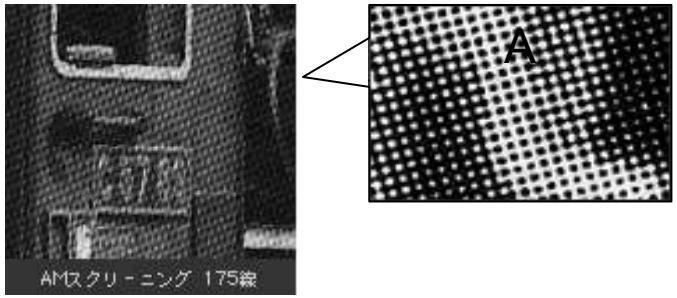
プロモページ告知として

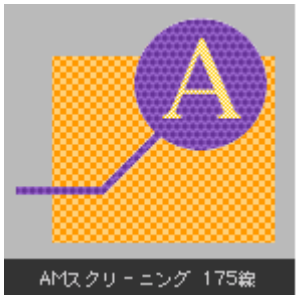
《参考：最終的な商品への組込み状態】

作品カードは、HDクオリティ商品のおまけにふさわしい、「FM高精細印刷」仕様！

驚異の600dpi相当クオリティ

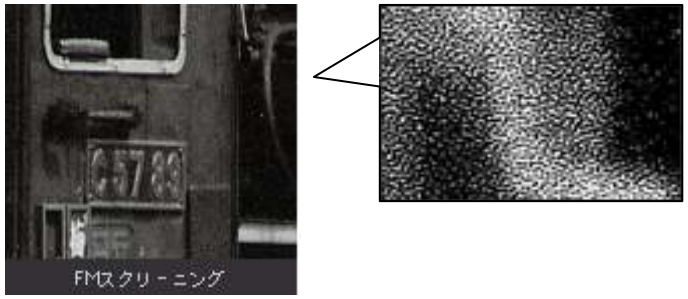
- 従来の印刷品質（SD印刷）… 175dpi前後





モアレのストレス
あり

- ***高品位の印刷品質（HD印刷）… 600dpi相当***



モアレのストレス
無し

BDA Confidential

ドルビー技術のご採用と
共同プロモーションに関するお問い合わせ先

Dolby Japan株式会社
東京都中央区築地1-13-14 NBF 東銀座スクエア 3F
TEL. 03-3524-7300
長内（オサナイ）e-mail: kimio.osanai@dolby.com
穐山（アキヤマ）e-mail: kenichi.akiyama@dolby.com

5/26（予定）よりi-mode公式サイトオープン
＊ドルビー技術採用ソフトのプロモーションに是非ご活用下さい＊
（作品トレーラーの掲載を承ります。）